

## Q49 狐の嫁入りとは何か？

日が照っているのに降る雨のことを狐の嫁入りという。天泣(てんきゅう)ともいい、英語で **serein** という。

晴れているのに雨が降る理由としては、はるか遠くにある雲から降った雨が強い風に流されてくる場合と、雨を降らせる雲が地上に到達する前に消えてしまった場合がある。

いずれも、冬の西高東低の気圧配置のときに日本海側の雪雲が太平洋側に流れ込んでくるときに出現しやすい。このような天気的时候は、おおむね晴れているが、強い雪雲が来たときに、雪が雨に変わって一時的に雨が降る。こうした雪雲は空の一部を覆うので、太陽が出ているのに、局地的に雨が降る。このときに虹が出現することも多い。

晴れているのに雨が降るのはまるで何かに化かされているような印象があることと、狐が人を化かすという言い伝えから、この現象を狐の嫁入りといわれている。この現象を、狐の嫁取りや狐雨と呼んでいる地方もある〔香田梨那〕。

